



## ◆練習スケジュール

月/日	会場	時間	備考	
11月	16日(土)	旭丘公民館	19:00~21:00	男声パート練習(18:00~19:00)
	23日(土)	〃	〃	男声ヴォイトレ(18:00~19:00)
	30日(土)	〃	〃	
12月	7日(土)	〃	〃	
	14日(土)	〃	〃	
	21日(土)	〃	〃	
2014年 1月	5日(日)	<b>新年会</b> (詳細は後日お知らせいたします)		
	11日(土)	旭丘公民館	19:00~21:00	
	18日(土)	〃	〃	
	25日(土)	〃	〃	
2月	1日(土)	〃	〃	
	8日(土)	〃	〃	
	15日(土)	〃	〃	
	22日(土)	〃	〃	

## ◆レクレーション係より

10月27日(日)、この日は2時からの特練のあと、5時より“江戸芝”にて「懇親会及び新人歓迎会」が開かれた。参加者は40名。石川先生も参加して下さり、日頃なかなかおしゃべりする機会のない団員同士が歓談しあい、会は大いに盛り上がった。

水野喬之さんの入団しての第1印象として、旭混声が発展している理由は女性陣が元気で強いということである!(爆笑)と感じたそうで、藤田邦江さん、森ゆき子さんも合唱への前向きな気持ちを語ってくれた。

来年7月の演奏会まであと8ヶ月あまり、この熱気と意気込みが演奏にも生かされますよう頑張りましょう!

## ●● 他合唱団体様よりお礼状が下記の通り届きましたので、お知らせいたします。 ●●

## コーロ・エミネースさんより

残暑厳しい初秋の日々、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

過日は、お忙しい中「コーロ・エミネース第14回定期演奏会」にご来場頂きまして誠にありがとうございました。無事に演奏会を終えることが出来ましたのも、偏に皆様の温かいご支援の賜物と、団員一同心より感謝いたしております。これからも詩の中に込められた「想い」を表現出来るように、練習・努力して参りたいと思っております。

今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。 敬具

2013年9月 コーロ・エミネース 団員一同  
団長 荒井 久美子

## 名古屋合唱団さんより

謹啓 新秋の候 貴下にはお変わりもなくお過ごしのことと拝察いたします。過日は生憎の天候にも拘わらず名古屋合唱団創立75周年記念演奏会にご来場頂き有難うございました。

お蔭様にて無事に会を終えることができました。これも偏に日頃皆様方の温かい励ましとお力添えの賜物と団員一同感謝の念で一杯でございます。なお、頂戴いたしました貴重なご意見を今後練習の糧といたし、ご指導の先生方のもと一層の研鑽を重ね、よりよい合唱音楽の向上を目指すべく精進いたす所存でございます。今後とも苦言ご鞭撻の程お願い申し上げます、先ずは取り急ぎお礼のご挨拶を申し上げます。 謹言

2013年9月 名古屋合唱団 団長 吉田 春樹  
団員一同

11月10日 **第32回尾張旭市民音楽祭**に参加しました。  
**Palestrina の Missa Brevis より「Gloria」「Sanctus」「Agnus Dei I」**を演奏。  
下記の皆様に参加の感想をいただきました。(到着順)

**旭市民音楽祭に参加して** ————— **S 藤田邦江**

発表会の曲が讃美歌と聞いた時は困惑しました。なぜなら歌詩が覚えられない。メロディも難しい。だから練習の時は、楽譜に釘づけでした。指揮をちらっとでも見ると楽譜に目を戻した時、どこを歌っているのか解らなくなり、ぼけ~っとしている事しか出来ませんでした。ですから楽譜を見るのは諦め、指揮と周りの方々の歌声と記憶を頼りに歌うことにしました。すると指揮に集中している方が、曲に乗っている様な気がして(表現の仕方が変ですいません)、よし!これで頑張ってみようと思いました。

発表会に出るのは2回目です。当日は雨。早めに家を出たのに皆さん集合していてびっくりしました。本番前に練習している時は上手く歌おうというよりは、違うところで歌いだしたりしないように(いつもの練習中は時々間違えた)という気持ちの方が大きかったです。そして本番。心の準備をする間もなく「10分早くなりました」の声。あっという間に舞台。歌っていると緊張感と安心感が混ざった様な気持ちでした。あんなに長い時間かけて練習したのに一瞬で終わってしまいました。自分では気持ちよく歌っていたつもりでしたが、後に足の裏が痛くなったので、「力が入っていたんだな」と思いました。

皆さんと奏でるハーモニーは心地良いものです。良い思い出が出来た一日でした。そして、早くまた皆さんと歌いたいとおもいました。

**尾張旭市民音楽祭に参加して** ————— **T 水野喬之**

尾張旭市民音楽祭に参加しました。歌い終わって直感的にヤッタネ!と思いました。舞台上で本当に気分よく歌えたからです。

神谷先生のご講評は多少割り引かねばとは思いますが、お褒めの言葉を頂きまして、出演者32名全員、気分よく帰る事ができました。皆さん良かったですね!まさに本番に強い旭混声合唱団が証明できました。

ただ、今回、私が残念に思うことがひとつあります。本番でもお休みが多い事です。勿論、通常の練習日も同じですが!お互い色々な用事がありますし、体調の問題もありますが、自分もハーモニーを作る重要な一員であると思って、常時、40名以上の編成で歌いたいものです。特に本番の時は先生の気持を察してあげて全員参加をモットーにしませんか?

**尾張旭市民音楽祭を終えて** ————— **B 佐竹 保**

1. 今回の演奏会でベースの参加者は各々が多端な日々の中でレギュラメンバー10名が全員参加で出演でき、ベースとしては手前勝手なことを言えば称賛に価すると思っただが…。

年間活動計画の3大演奏会には色々な事情・理由が生ずるとは思うが、少なくとも団員全員の出演参加を目指した活動の場としていきたいものです。

2. 来場者の感想や評価はいつもコメントを呉れる友人が今回は生憎都合悪くて来てくれ

なかったので、団全体やパート毎のことが分からないが、出演者夫々が自己評価をしてもらうとして、主観的なベースパートへの感想は次の通りです。

①神谷先生のベースへの重点的な指揮・合図のご配慮で大過なく(?)ベースの演奏ができたかな(?)と感じたが…。

②ベースのニューフェイスの近藤新二氏は手足に大変なハンディを持ちながらも、初本番で澁刺とした姿勢で歌っている後姿を見て、周りに否少なくとも私には強い刺激・感激を受けました。

彼に後刻ご苦労話を聞きますと団練習時に録音したICレコーダーを毎日繰り返し・繰り返し練習して臨んだそうです…。

3. 個人的には従来に比し、練習不足・気力不足そして加齢の因か暗譜レベルが低かったこともあり、本番でもストレスが溜まった演奏に終わったことを反省し、来夏の第9回定期演奏会へ向かって心身を練磨していきたいものだ。

### 尾張旭市民音楽祭に参加して \_\_\_\_\_ A 大栗 尉子

今年度最後の演奏会が終わりました。

親睦会での、あの暗譜コールが耳から離れませんでしたので練習を重ね、なんとか暗譜にこぎつけ、無事歌い終えることができホットしています(もっと他のパートを聞く余裕を持たなければとの反省もあります)。

もう次なるステージ、第9回演奏会に向け始動しています。各先生方にはいつも懇切丁寧なご指導を頂き感謝申し上げます。又、技術委員長の須田さんには、いつもにこやかに、ユーモアを交えながらのご指導、又、落ち込んでる私達を救い上げて頂き、ありがとうございます。この様な素晴らしい指導者に恵まれた環境の中で歌える喜びと、難しい練習を乗り越え皆さんと作り上げていく充実感や緊張感、そして、完成時の幸福感を味わい続けるために、次なる演奏会に向け一回一回の練習を大切に、意識を高め取り組まなければならないと思っています。皆さん、よろしくお願い致します。

### 尾張旭市民音楽祭に参加して \_\_\_\_\_ A 橋詰ひろみ

「永訣の朝」を歌う為に、高いファより上が弱いので、希望して、一時メゾソプラノからアルトへ、後に最終的にアルトにパートを変わりました。

今回のミサ曲、暗譜したものを改めてアルトで暗譜、本番ではソプラノを歌いそうで、楽譜に頼り、その見方も下手で、アルトとしてうまく表現出来なくて残念でした。

偶然にも、いつも十年毎に新しい事に挑戦して来ました。人生最後(?)の挑戦アルト。今迄やって来たコーラスを思い出して、音取り、暗譜、姿勢等気を配って、アルトの一員として早くとけこんで歌いたいです。

神谷先生、石川先生、毛利先生、団員の皆様、よろしくお願い致します。



1995 (H7) 年4月8日37号でこの年の新役員として団長：松本義明、副団長：伊藤美和子、技術：古田和則、会計：長谷川紀夫の各氏を発表しています。6月18日39号で6月分から団費値上げ(2,000円→2,500円)をお願いし、8月19日40号で更に8月分より値上げ(2,500円→3,000円)となりました。累積赤字が10万円に達しており、年度末に赤字解消をするために協力をお願いしています。また9月23日の多治見市地球村での合宿練習とバーベキューの時間割も掲載しています。この頃ベースの林松男さんが入団。

7月16日新装の美和町文化会館で「美和エコー演奏会」に賛助出演。**ブラームスの「愛の歌」より1、2、3、4、5、8、9、16番**、アンコール曲として「**前線にも春が来た**」「**ヴォルガ下り**」を演奏しました。

1996 (H8) 年4月18日44号は、4月6日の盲導犬の育成を支援する音楽家達のチャリティーコンサート「アマービレ」で、『**心の四季**』より**5曲**を歌い大変好評であったこと、また入場券も旭混声として120枚販売、一定の貢献が出来たと伝えています。この年のスタッフは、団長：松本義明、副団長：伊藤美和子・古田和則、技術委員長：早澤信昭、会計：中畑チズ子・古田実智子の各氏を選出しています。

10月6日の47号では副団長の伊藤美和子さんが体調を崩し急逝され、団に大きな衝撃が走った状況を伝えています。後任にはアルトの松本恵美子さんが選出されました。

1996 (H8) 年43号では創立10周年記念演奏会へ向けて基金を積み立てる特別団費(2月～12月：1,000円/月/人)の新設を伝えています。演奏会の時期は1997年4月頃、会場は尾張旭市文化会館ホールを予定。楽しく歌うことに加え、更に一步進めて自分達の気持ちや感情を、より高いレベルで表現出来る合唱団への挑戦と位置付け、指揮者の滝沢博先生と共に**ブラームスの「愛のワルツ集I」**、**高田三郎の『心の四季』**に挑戦することとなりました。

練習を重ねるに従い「呼吸法を含めた発声と発音」「フレーズを歌う歌唱法」「パートの音色のまとまり」「他のパートを聴きながら歌えるアンサンブルの力」等々の技術的な課題が問題となり、演奏会の期日が迫ってくるに従い、指揮者の要求について行けないジレンマが団内に充満。

ついに10周年記念演奏会を断念する結果となりました。滝沢先生とも11月10日の第15回尾張旭市民音楽祭を最後にお別れすることとなってしまい、更に残念なことに、団の中心的な存在であった古田夫妻も退団となってしまいました。これは個人的にもショックが大きく、忘れられない事件となりました。

滝沢先生の後任の指揮者として、これまでも時々ピンチヒッターを引き受けてくれていた、セントミカエルクワイアーの松井俊彦先生に無理をお願いしました。1997 (H9) 年1月26日51号では緊急事態を受けて新指揮者の松井先生を交えた拡大役員会を開催、結果、演奏会の日程を白紙に戻し、松井先生の指導の下になるべく早い時期に演奏会を計画する、特別団費の積み立て徴収は1月分で凍結する、と伝え、同時に休団中であったテナーの酒井敏行さん、アルトの酒井富子さんの復帰を新人紹介欄に掲載しています。

3月23日53号で新役員として団長：松本義明、副団長：松本恵美子、技術委員長：早澤信昭、会計：中畑チズ子・大栗尉子の各氏の選出、この年から全員参加の団運営を目指し、各人何等かの団の係を受け持つこととしています。また、10月12日59号では指揮者の松井俊彦先生がドイツ留学のため翌年1998年(H10)3月をもって辞任する旨を発表しました。松井先生には1992年2月、臨時に指揮をお願いして以来6年間お世話になりました。常に真正面から取り組み、時には悩み、根気よく、爽やかな若さで指導して下さいました。それに応えるべく、稲沢の「さざんか合唱団」(当時松井先生が指揮)とのジョイントコンサートでお別れしようと考え、1998 (H10) 年2月頃の開催を目標に計画を進めるとしています。

1998年(H10)1月18日62号では第4回の演奏会として、稲沢さざんか合唱団とのジョイン

トコンサートを2月22日に瀬戸信エンゼルホールで開くことを発表しました。そして、演奏会実行委員長に早澤信昭さんを選び、成功裡に終えることができました。

1 ステ：さざんか合唱団

2 ステ：旭混声：「合唱讃歌」「信濃の秋」「ふるさとの」「平城山」「花」

3 ステ：さざんか合唱団

4 ステ：旭混声：『風の子守歌』

アンコール：「合唱讃歌」「川の流れるように」(合同演奏)

3月14日64号で後任の指揮者に中村貴志先生を紹介、この頃ベースの中島一彦さんが入団されています。瀬戸合唱フェスティバル、尾張旭市民音楽祭は中村貴志先生の指揮で『花によせて』を演奏しました。

1999(H11)年1月30日72号では5月30日に旭丘公民館に於いて瀬戸男声合唱団、尾張旭女声コーラス、わが団の3団体で第1回合唱交歓会を実施、また、総会を延期し現役員が継続する旨伝えています。

交歓会当日は3団体総勢70名が旭丘公民館に集い以下の演奏を聴き合い、茶話会で交歓しました。

尾張旭女声コーラス 指揮：米丸史郎 ピアノ：近藤茂之

「春・白鳥のうた」「地球はまわる」「青葉の歌」「くじらの歌」「生きる」

瀬戸男声合唱団 指揮：神谷伸行

『月光とピエロ』全曲

旭混声合唱団 指揮：中村貴志 ピアノ：石川ひとみ

「花」「平城山」「浜辺の歌」「かやの木山の」「この道」「待ちぼうけ」「箱根八里」

この年は9月の瀬戸合唱フェスティバルでは『水のいのち』から2曲、11月の尾張旭市民音楽祭では『三つの山の歌』より「ともしび」、『水のいのち』より「雨」「海よ」を中村貴志先生の指揮で歌いました。

2000(H12)年4月29日84号では、団長：松本義明、副団長：松本恵美子、技術委員長：早澤信昭、会計：小坂光代・波多野陽子の各氏の選出を発表、また、6月に第2回の合唱交歓会を最後に中村貴志先生が辞任、8月より神谷伸行先生に後任をお願いした旨を掲載しています。9月の瀬戸合唱フェスティバル、11月の尾張旭市民音楽祭で神谷先生の指揮で演奏しました。

2003(H15)年5月25日は旭混声創立以来初めて、単独で第5回演奏会を瀬戸信のエンゼルホールにて開催。これまでの演奏会は全てジョイント又は他団の賛助を受けていました。神谷先生に指揮・指導をお願いして3年目で達成です。

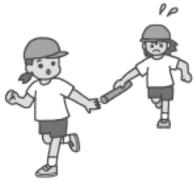
1 ステ：新実徳英作曲『白いうた青いうた』…その中の「火の粉」「春つめたや」はベースの末松卓也さんがタンブリンを叩き、「しらかば」ではソプラノの橋詰ひろみさんがカスタネットを入れ、「鳥舟」でアルトの松本恵美子さんがオカリナの伴奏を入れた楽しいステージでした。

2 ステ：「ミュージカル・コーラスセレクション」…青春時代の思い出のミュージカル映画のサウンドで、歌詞すべて英語という難しい中でも楽しみました。

3 ステ：廣瀬量平作曲『海鳥の詩』…10年前の演奏会で歌った曲でしたが、神谷先生の指揮で新しい『海鳥の詩』の世界を見せて頂き、苦労をした分だけ大きな感動を貰った演奏会でした。

6月15日の広報109号はその辺の事情を熱く伝えています。定員350席のホールに424名が入り、消防法の厳しい現在では考えられない立見席やロビーで聴いて頂きました。また、その団員の感動は「第5回演奏会ひとこと集」として、アンケート結果と共に冊子にまとめられました。

## ～こころをつなぐインタビューリレー～



ソプラノ若杉さんからのバトンパス、  
今回のランナーはベースの 中島 一彦さん です。

《まずは前回のランナーの若杉さんからの質問です。》

### ■いつもお元気な中島さん。その秘密は？

申し訳ないです。元気ではないのでお答え出来ませんが、姿勢は気を付けています。むしろ不健康です。①腸が悪い（ポリープがあります）。②健忘症です（社会の窓 チェック上げ忘れ、しばしば。ハズカシイ！）。③「酒癖が悪い」と評判（落ち込んでいます）。まだまだありますがこのへんで。

《広報からもインタビューさせていただきますね。》

### ■ご出身は？

瀬戸市街から一山越えた赤津です。実家は窯焼き（茶碗屋）でした。今は「飛鳥窯」と称し、甥が頑張っています。

10人兄妹（男5人・女5人）で、物心ついた頃には、長兄は戦地、次兄は戦死、3兄は乳幼児に病死（オヤジから「栄養失調で死なせた」と聞きました）、4兄は名古屋軍需工場で働いており（奇しくもこの会社に私が40数年勤務！）、長姉は嫁ぎ、4人の姉は私の面倒を見てくれていました。末子（ばっし）で、父母は爺さん婆さんでしたから甘えん坊で泣き虫でした。泣き脅しで我がままを通していた覚えがあります。

終戦となり長兄が帰り間もなく結婚、初孫誕生し、近くに新居構えましたので、我が家へ毎日風呂に入りに来ました。以後、私の環境がガラリと変わりました。この続きはまた次の機会に。

### ■版画を始められたきっかけは？

中学1年生で初めて版画の授業を受けました。今でもその時の失敗作を思い出します。下絵を鉛筆で線描きし、一生懸命鉛筆の線を残し、ほぼ真っ白な版木が仕上がりましたが、周囲を見ますと掘ってないところが多く、版ではなく下絵になってしまい、「ダメ、失敗だ！」と思いました（今は多色刷りの主板としてこの彫り方をします）。急いで彫り直しましたが、評価はゼロ！以後版画の授業はありませんでした。

どうしてか今思い出せませんが、会社勤めを始めたころから、毎年版画で年賀状を出すようになりました。けれどいつまでたっても下手くそで、常々、版画教室にでも入って教わりたいと思っていました。たまたま十数年前、尾張旭市の「版画教室」が目にとまり参加して継続しています。

### ■他に続けていらっしゃることは？

①ソフトテニス（下手くそ）②ゴルフ（下手くそ）③兄弟付き合い（当たり前）④夫婦（願望死ぬまで）

### ■合唱を始められたきっかけは？

若い頃会社の合唱部に入り、産業合唱コンクールの県代表で東京産業会館で「Kyrie」を歌いましたが、合唱部は1年で辞めました。その後、10名足らずの「けむりコーラス」（「瀬戸の雀は真っ黒だ！」と瀬戸が煙で有名な頃）で遊んでいたことがありました。以後30数年ブランク。友達に誘われて行った瀬戸信「エンゼルホール」で旭混声の「合唱讃歌」を聴いて、感動、歌ってみたい気が湧いてきました。ボケ防止にいいかなあと、勇気を出して、入団させていただきました。

「楽譜は読めない、地声しか出ない」状態でしたので、迷惑をかけてはいけないとの思いがずっとありました。「一步の会」というところで発声を教えて頂けるとのことで、4年ばかり通いまして、少しは成果があったと思っています。

### ■これから歌ってみたい曲は？

①日本民謡「真室川舟歌」②神谷先生の編曲でひばりの「りんご追分」③ミサ曲は気持ち良いので歌いたい！！

### ■旭混声は？ 一言で。

ボケ防止（すみません）。

《「酒癖が悪い」とはどちらの評判でしょうか!? 中島さんのお酒は周りを楽しませてくださる、とっても良いお酒だと思います!♡(\*^\_^\*)♡》

s・ 植村



# Missa Brevis

♪♪ 最終回は Sanctus と Agnus Dei について解説

by B 近藤 鉦 ♪♪

## Sanctus(神聖である) \*\*聖なるかな\*\*

【感謝の典礼】において、パンとぶどう酒を捧げた後に唱える。神の神聖さに感動する内容である。サンクトゥスは6世紀、ベネディクトゥスは7世紀から用いられている。多くの場合ベネディクトゥスの方が小篇成で、地味に作曲される。両曲の末尾のホザンナは共通の主題で作曲されることが多い。

<b>Sanctus,</b> 神聖である,	<b>Sanctus,</b> 神聖である,	聖なるかな、聖なるかな、					
<b>Sanctus</b> 神聖である	<b>Dominus</b> 主	<b>Deus</b> 神	<b>Sabaoth.</b> 万軍の。	聖なるかな、万軍の神なる主は			
<b>Pleni</b> 豊富な	<b>sunt</b> である	<b>caeli</b> 天は	<b>et</b> そして	<b>terra</b> 地は	<b>Gloria</b> 栄光	<b>tua</b> 汝の(彼の)。	<b>(ejus).</b> 天と地は汝の(彼の)栄光に 満ちている。
<b>Hosanna</b> 万歳(ヘブライ語)	<b>in</b> ～に	<b>excelsis.</b> 高いところに。	いと高きところに	万歳			

## Agnus Dei(神の小羊) \*\*平和の賛歌\*\*

【交わりの儀】において、聖体拝領の前に唱えられる。キリストの象徴である聖体となったパンを、「バプテスマのヨハネ」がキリストに会ったときに言った言葉にちなんで「神の小羊」と呼び(新約:ヨハネ1章29節)、人類のためにいけにえとなったキリストに永遠の平安を願う。

<b>Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:</b> 小羊 神の、～の人 取り除く 罪を 世界の:	世の罪を除きたもう神の子羊よ、
<b>Miserere nobis.</b> 憐れめ 私たちを。	私たちをあわれんで下さい。
<b>Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:</b> 小羊 神の、～の人 取り除く 罪を 世界の:	世の罪を除きたもう神の子羊よ、
<b>dona nobis pacem.</b> 与えよ 私たち 平和を。	私たちに平和を与えて下さい。

◆イベント情報◆

# Afternoon Concert ～女声合唱の集い 2013～

演奏・曲目：

稲沢さざんか合唱団

松下耕：女声合唱曲集『そのひとがうたうとき』

女声合唱団「マーレ」

信長貴富：二部合唱のための6つのソング『うたうたう』より

「うたうたう」「行方」他

佐藤賢太郎：前へ

おばたコーラス&女声合唱団スマイル・ハーモニー

女声合唱のための『一番星みつけた』より

「汽車」「冬景色」「ふじの山」他

コールリリアス

「Pekka Kostiainen:Regina angelorum」

福島雄次郎：無伴奏女声合唱のための『南島歌遊びその2 伝説』

より 「嗚咽」「橋」他

<合同演奏> 菅野よう子：「花は咲く」

指揮：永 ひろこ

ピアノ：柴田理恵・石川ひとみ・新田陽子

日時：2013年11月28日(木) 開場13:30・開演14:00

場所：熱田文化小劇場

入場料：500円



## 愛知ロシア音楽研究会が贈るロシアン・クリスマス・コンサート ロシア民謡大博覧会 2013

第1部 トロイカに乗って

「赤いサラファン」

バラライカ演奏 他

第2部 ペチカのまわりで

「ステンカラージン」

『50のロシア民謡』より 他

特別ゲスト：バラライカ：北川 翔 ギター：長尾 和彦 他

日時：2013年12月7日(土)

第1部 14:00開演 第2部 16:30開演

場所：宗次ホール

入場料：第1部、第2部各 2,000円 通し券 3,500円



## 瀬戸第九をうたう会創立30周年記念演奏会 陶祖800年祭記念

### “第九”演奏会

曲目：「藤四郎賛歌」 作曲 西田由美子 作詞 加藤洪太郎  
ベートヴェン作曲「交響曲第九番」

指揮：西田 博

演奏：瀬戸市民オーケストラ

合唱：瀬戸第九合唱団

混成合唱団名古屋シティーハーモニー 他

日時：2013年12月8日(日) 開場14:30・開演15:00

場所：瀬戸市文化センター 文化ホール

入場料：1,000円

